



これは何でしょう



(ヒント)
節分に、使われる地方も
あります。

答えについての思い出など
お待ちしております。

■しめきり 2月14日(金)必着
■あて先 〒783 南門市企画課
〒甲二二〇一 南門市企画課
親子クイズ係
■賞品 正解者の中から抽選で
5人の人に図書券を進呈
◎第27回親子クイズの答えは、
キネでした。

第297回当選者発表(敬称略)
(応募総数38通)

- 津野喜代子(才谷)
- 田島華(大浦甲)
- 田中美代子(駅前町)
- 浜田悠乃(浜坂町)
- 梶智恵(駅前町)

☆ 思い出がいっぱい ☆

◆きねを使っておもちつきは
経験がありません。TVでやっ
ているのを見たりすると、とて
もうらやましいです。
(浜田 種子)

◆昔はおばあちゃんの家で、お
米を蒸して親戚一同でついでに
たおもちつき。今は、もちつき
機一台でウィーンと済んでしま
うもちつき。やっぱり昔のもち
つきが情緒があつてよかつたで
すね。
(野島 幸江)

◆見たことのあるけど、名前は
知らなかったの、おうちの
人に教えてもらった。
(西田りょう)

◆今年(十二月二十七日)はじ
めて家で、おもちつきをしまし
た。父がワスコキネを買ってき
て、祖母が先頭にたつてつきま
した。弟もおもちをひっくり返
すの手伝い、母より上手に祖
母が言ったりして、とても楽し
い一日でした。残念ながら、私
は撮影係でした。(川本 弘賢)

◆私たちの時代は家で年五回ぐ
らいつきました。楽しい十二月
三十日だった。家庭で、おもち
を作りました。今の子どもは店
で売っているの、毎日のよう
に食べているので正月はあまり
もちを食べないようになっています。
私も弟たちもなつかしく
思いました。(谷合 百世)



みんなの

広場

後免野田小家庭教育学級生

上岡 美実

今回は、講演だけでなく、意
見を交流させる場もあり、より
考える時間が増えてました。
意見交換の場、Aさんは
「女性は、女性の本分を生かし
てこそ、男性からも尊敬される。
子どもをしっかりと受けとめ、疲
れた夫を癒してあげる優しさが
子どもの心を育て、社会も変え
るし信じます。この生き方を選
びます」といわれました。



今回は、講演だけでなく、意
見を交流させる場もあり、より
考える時間が増えてました。
意見交換の場、Aさんは
「女性は、女性の本分を生かし
てこそ、男性からも尊敬される。
子どもをしっかりと受けとめ、疲
れた夫を癒してあげる優しさが
子どもの心を育て、社会も変え
るし信じます。この生き方を選
びます」といわれました。

中央家庭教育学級生

野村 ゆか

お話の中から、フランスでは
時間三分法で、仕事の時間、家
族のための時間、自分自身の時
間と割り分けて生活しているこ
とにとても感動と関心を持ちま
した。父親もエプロンをかいた。
家族全員で夕食の準備をし、食
事はテレビを消し、ゆっくり時
間をかけて、いろいろな会話を
するそうです。現代の日本に失
われてしまった家庭教育の原点
をもう一度考え
させられました。

は、まだまだ男
性中心の社会で
す。企業職士の
男性は家事・育
児に参加しにく
いのが現状です。
でもあきらめず
に、男女が力を
合わせ、一人の
人間としてより
豊かな人生創り
を進めたいと思います。

晩婚化・少子化・偏差顕著
の教育、テレビゲームのはんら
んなら現実には問題の多い家庭
教育も、地域を含めた男女共同
の作業で解決していけたらと改
めて感じた一日でした。

男女ともだち(共生)社会 を実現するために

県は、男女ともだち(共生)社会を実現す
るため『こうち女性プラン』を策定し、後半
期推進にパワー全開といったところです。
市においても、12月14日、『生きる力
をはぐむために 子と親 女と男』と題し、
これらの事業推進のため、少子化、女性の社
会進出、法制度の改正(男女雇用機会均等法・
育児休業法)などの女性問題と家庭教育をト
ッキングした初めての講演会を行いました。



子育て 女・男の言い分 思いやりと優しさ

講演会は、子育て中の
男女や、子育て・OBで青
少年育成活動者などの集
まりとなりました。
講師は、フランス留学
を経て、現在、県女性問
題アドバイザーでもある
関根猪一郎さん。近代に
おける社会と家族(生活
・意識)の変化、家庭教
育における男女(夫婦)の役
割から、男と女のいい関係の
本質まで、幅広いお話しをし
ていただきました。

中央家庭教育学級生
中沢美保・久米久美
関根先生のご講演の後、コ
ーヒーブレイクをはさんで自
由な雰囲気で見聞交換をしま
した。その際のいくつかの意
見をあげてみましょう。
○男女は基本的には平等だが、
身体的特性があり、男は仕
事、女は夫・家族を支える
という日本の文化がいいと
思う。



○共働きなのに、家事・育児は
妻がするのが当たり前では割
り切れない、男性の優しさは
は？というのを考えてし
まう。
○今日は夫婦で来ました。生活
のことも教育のことも一緒に
学習しなければ……。
○子どもにも、男らしく、女ら
しくではなく、人間としての
あり方を小さい時から教育す
べきと思う。
○職場の中で女性の意見は通り
にくい。男性のフィルターを
とおして見た社会や教育を変
えるため、男性も、もっと学
習してほしいと思います。

短歌

早出する孫見送りて出でし朝
あき鏡の空に鳩の群舞う
萩原 小松 長江
紅白の心事な光景よ海の即
水面に映える谷間を乱舞
福生 孝幸
息吹きの白く流れて音き空
山茶花の紅ざわめきて咲く
十市 細川 須磨
夕ざればがらし吹きて身にしみて
淡す着の香は風習の気味せむ
立田 北村 幸江

俳句

毛糸帽あみだに被り尼外出
ただの石よだれ掛けして冬ざる
前浜 高木 喜美
日和賞で一枚脱ぎし落葉掃
西山 岩貞 房子
日だまりやそっと手にする寒椿
稲生 戸根 政子
七半の野の熱きに著るトネ
大浦甲 佐竹 千代

川柳

ふりむけば六十年の長い夫婦みち
夫婦風邪熱を言わずに妻は炊く
十市 沢村 鶴一
田村乙 川口 岩春